

# マルワリードⅡ、3.3 kmまで送水開始

2017年12月20日受信

2017年12月20日



事務局のみなさん、後藤・村上先生、

本日、12月20日、3.3km地点までの送水を実施、用水路の点検を行いました。この調節池Ⅲまでの完成が本計画の天王山で、ここまでの排水路の整理、洪水浸入路の措置をしながら進むので、最も手がかかりました（次図をご参考下さい）。排水路1と2は調節池Ⅲ付近でまとめられ、河に戻します。ここはまた、タラーン村の取水場所で、排水路3がそのまま水路として利用されてきました。水量調節の利かない水路で、同流域では湿地が至る所に発生していました。

更に重要なのが2010年の洪水浸入経路の処置でした。調節池Ⅱで閉塞された河道（洪水路）は新河道（掘削中のショートカット）へ流し、万一溢水しても調節池Ⅲに連続する堤防で大幅に被害を減らせます。

タラーン村へは同調節池から分水路が新設されて水量調節が可能となり、排水路3はごく少量の畑の捨て水だけが流れます。各村の耕地は倍増します。

まだ終わったわけではなく、全体の完成までは一年以上かかりますが、見通しが非常に明るくなったということです。

村民はよくアンテナを張っていて、送水情報がおそらく作業員あたりから流れ、突然小麦畑が出現し始めています。パキスタンからの送還難民が多いところなので、ずいぶんと胸をなでおろした家族もあろうかと思えます。

年末のあわただしい時の報告ですが、感謝を以て報告いたします。

カマ第二堰の基礎も、何とかこの一週間でカタをつけたいと思います。

2017年12月20日 記

図. 主な洪水対策 (2017年7-9月)  
(洪水浸入部と浸食部の措置)



調節池 I の主水路・送水門（約 957m 地点）。ここからがスタート。



送水門下流側。勢いよく水が流れる。



調節池 2 まで約 500m が流れる。ここまでが堤防の裏のりに当たり、最終的に籠積み二段。(動画あり)



カチャラ 2 分水路の取水門（1056m 地点）を下流から見る。（動画あり）



調節池Ⅱと橋3（1471-1481m地点）を下流側から見る。初めての送水なので、水路内の泥が洗い流され、濁流に見える。（動画あり）



満水直前の調節池Ⅱ。池には送水門がない。水量調節を専ら調節池Ⅰに一本化するため、排水門だけが備えてある。この下流側から調節池Ⅲまでが用水路B区で、約1640m。



約 2 km地点を通過。(動画あり)



3170m 地点でサイフォンをくぐり、調節池Ⅲに向かう。(動画あり)



橋をくぐって調節池Ⅲに入る。橋は番号をつけ忘れていました。(最終的に橋 8 ですが、混乱するので「池Ⅲの橋」としておきます。)



橋 (3250m 地点)

調節池Ⅲの下流側から眺める。調節池は長さ 50m で、これでちょうど 3.3 km まで送水となります。



サイフォン。排水路の水は調節池 I と II で調整されていて、普段は少ない。夏季の山沿いで発生する鉄砲水の流路となる。サイフォン釜場間の距離は 20m、周囲の石垣はまだ高くなり、下流側は調節池 III の外壁堤防と連続される。



水が来ると確信した村民が小麦畑を作り始めている。作業員を通じて、送水情報が村中に流れる。住民からの不満や要求は皆無、自治会による秩序が健在なのだ。

